

地域福祉計画 評価表

「目的達成度評価」

「事業遂行度評価」とは別個に、地域社会実現目的の観点から、年度ごとの効果を可視化し、把握するものとして、「目的達成度評価」を、以下のように設定する。

①安心・安全に暮らせるまちづくり

「目的」

一人ひとりの人権が尊重され、誰もが住み慣れた地域で安全に、安心していきいきと暮らしていくことができるように、環境の整備や支え合いの仕組みづくりを推進します。

施策の方向（具体的な取組）

- (1) 個人の尊厳と基本的人権を尊重し、地域の課題解決に向け、地域全体で進められる取組の推進・支援
- (2) 健康でいきいきと暮らしていくために、こころと体の健康づくりの推進
- (3) 災害時の被害を最小限にとどめる取組と地域による防犯・防災の取組の推進

「具体的な取組と目的達成のめやすとなる数値」

目的達成のめやすとなる数値	担当課	単位	基準値 R3(2021)	実施状況					目標値
				年度	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R7(2025)
各種人権啓発事業参加者数	人権啓発課	人	1,168	数値	1,420				4,960
				達成率	29%				
健康づくり・食育アライアンス事業加入団体数	健康づくり推進課	団体	73	数値	86				100
				達成率	86%				
防災出前講座実施回数	危機管理室	回	18	数値	44				60
				達成率	73%				
防犯カメラ設置事業補助台数	総務課	台 (累計)	10	数値	19				45
				達成率	42%				
地域安全・安心見守り事業防犯カメラ設置台数	総務課	台 (累計)	—	数値	22				66
				達成率	33%				

「評価」

評価（上記数値、目標を踏まえて地域福祉課で文章作成⇒委員会で意見をいただきまとめる）

「①安心・安全に暮らせるまちづくり」として37の取組を実施し、この中から5つの数値目標を設定しました。

「各種人権啓発事業参加者数」は目標値に対しての達成率は低い状況ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員を制限するなどの対策を行った結果であり、令和3年度と比べ数値は増加しています。新型コロナウイルス感染症流行前の数値に回復させるための取り組みが必要です。

「健康づくり・食育アライアンス事業加入団体数」、「防災出前講座実施回数」、「防犯カメラ設置事業補助台数」、「地域安全・安心見守り事業防犯カメラ設置台数」は目標達成に向けて計画的に事業を実施しています。

安心・安全に暮らせるまちづくりの実現に向け、引き続き各取組を実施していきます。

②市民が主体となった地域福祉活動の推進

「目的」

人材の発掘・育成や支え合いの仕組みづくり、地域での活動拠点の整備を進めます。

施策の方向（具体的な取組）

- (1) 地域福祉活動への参加意欲を持っている人が、気軽に活動に参加できるきっかけづくりの支援
- (2) 地域での世代間交流や学校での福祉体験学習等を通じて、「向こう三軒両隣」で支え合う福祉文化を育む取組の推進
- (3) ボランティアの育成や活動の支援
- (4) 地域福祉活動の基盤となる地域コミュニティの活性化の推進
- (5) 地域福祉活動や交流の拠点整備の推進

「具体的な取組と目的達成のめやすとなる数値」

目的達成のめやすとなる数値	担当課	単位	基準値 R3(2021)	実施状況					目標値 R7(2025)
				年度	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
学区福祉委員会 登録者数	学区福祉委員会	人	1,242	数値	1,154				1400
				達成率	82%				
人材バンク活用 件数	生涯学習課	件	16	数値	37				65
				達成率	57%				
健康長寿サポ ーター登録者数	長寿生きが い課	人	194	数値	214				350
				達成率	61%				
地域コミュニ ティ活性化事業補 助金利用件数	市民協働推 進課	件	1	数値	5				6
				達成率	83%				
				達成率	101%				

「評価」

評価（上記数値、目標を踏まえて地域福祉課で文章作成⇒委員会で意見をいただきまとめる）

「②市民が主体となった地域福祉活動の推進」として41の取組を実施し、この中から4つの数値目標を設定しました。

「学区福祉委員会の登録者数」は新型コロナウイルス感染症の影響で活動の自粛が続いたことや、登録者の高齢化が進んでいること等により、基準値から減少しています。地域での支え合いの仕組みづくりのため、活動していただきやすい環境づくりに努めるほか、活動の周知・広報を行う等、登録者数の増加に向けた様々な取り組みを行う必要があります。

「人材バンク活用件数」、「健康長寿サポーター登録者数」、「地域コミュニティ活性化事業補助金利用件数」は基準値と比べ増加しており、目標達成に向けて計画的に事業を実施しています。

人材の発掘・育成や、支え合いの仕組みづくり、地域での活動拠点の整備を行い、市民が主体となった地域福祉活動が推進できるよう、引き続き各取組を実施していきます。

③ゆるやかな支え合い

「目的」

支援が必要な人を地域でゆるやかに支え合いながら、困りごとがあったとき、いざというときには迅速に対応できる地域での支え合いネットワークづくりを推進します。

施策の方向（具体的な取組）

- （１）一人ひとりの考え方や生活スタイルの違いを尊重しながら、地域で見守り、支援が必要な人を早期発見、解決へ導く取組の推進
- （２）地域福祉の担い手として活動している人々の連携の強化

「具体的な取組と目的達成のめやすとなる数値」

目的達成のめやすとなる数値	担当課	単位	基準値 R3(2021)	実施状況					目標値
				年度	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R7(2025)
れもねいど加盟団体	長寿生きがい課	団体	82	数値	84				100
				達成率	84%				
ボランティア活動センター登録団体数	宇治ボランティア活動センター	団体	51	数値	53				50
				達成率	106%				
ボランティア活動センター登録者数	宇治ボランティア活動センター	人	1,069	数値	1,139				1,250
				達成率	91%				

「評価」

評価（上記数値、目標を踏まえて地域福祉課で文章作成⇒委員会で意見をいただきまとめる）

「③ゆるやかな支え合い」として、16の取組を実施し、その中から3つの数値目標を設定しました。

「れもねいど加盟団体」は基準値から増加しており、目標値の達成に向け計画的に取り組んでいます。数値目標の達成に向けて、引き続き加盟団体数の増加に繋がる取り組みを進めていく必要があります。

「ボランティア活動センター登録団体数」、「ボランティア活動センター登録者数」の数値につきましても、それぞれ基準値より増加しており、「ボランティア活動センター登録団体数」については、数値目標も達成しています。しかしながら、活動状況としては、新型コロナウイルス感染症の影響による中止を経て3年ぶりに再開されていますが、流行前の状況にまでは回復していないことから、流行前の状況まで回復できるよう活動の支援に取り組んでいく必要があります。

担い手の育成や支援を行うとともに、連携強化を図ることによって、ゆるやかに支え合うネットワークづくり推進のため、引き続き各取組を実施していきます。

④多様な福祉サービスの創生と展開

「目的」

地域で支援を必要としている様々な立場の人のニーズを把握し、行政や事業者による適切な福祉サービスの提供を推進します。

施策の方向（具体的な取組）

- (1) 支援が必要な人に対して必要なサービスが円滑に提供できるような支援
- (2) 地域の福祉サービス事業者等との連携やNPO、市民活動団体への支援の取組の推進
- (3) 多様な地域課題を包括的・重層的に受け止め、関係機関が連携して解決へと導く体制の構築
- (4) 地域での生活不安や困難に対応するセーフティネットとなる施策や活動の推進

「具体的な取組と目的達成のめやすとなる数値」

目的達成のめやすとなる数値	担当課	単位	基準値 R3(2021)	実施状況					目標値
				年度	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R7(2025)
ゲートキーパー研修参加者数	地域福祉課	人	-	数値	21				50
				達成率	42%				
地域つながり活動支援事業補助金助成団体数	地域福祉課	団体	-	数値	3				20
				達成率	15%				
学習支援事業 うじびよんの学び舎総参加人数	宇治市社会福祉協議会	人	824	数値	947				1,344
				達成率	70%				

「評価」

評価（上記数値、目標を踏まえて地域福祉課で文章作成⇒委員会で意見をいただきまとめる）

「④多様な福祉サービスの創生と展開」として21の取組を実施し、この中から3つの数値目標を設定しました。

「ゲートキーパー研修参加者数」は目標値に対して達成率が低い状況であり、様々な方に受講していただけるよう参加方法や周知・広報について工夫を行う必要があります。

「地域つながり活動支援事業補助金助成団体数」についても目標値と比べ達成率が低いため、活用事例の紹介等、利用の促進に向けて広報等に力を入れていく必要があります。

「学習支援事業 うじびよんの学び舎参加人数」は基準値より増加しています。目標の達成に向け、参加人数の増加（出席率の増加）に向けた取り組みや、定員に空きが生じる期間を減らすための周知・広報が必要です。また、市では「うじびよんの学び舎」を含めて3拠点（令和5年7月に新規1か所開設）の学習支援事業を運営しており、今後の学習支援事業のあり方についてニーズ等を踏まえながら検討していく必要があります。

また、必要な人に必要な支援を、包括的かつ重層的にとどけられるよう、相談窓口の認知度の向上や相談窓口間の連携を深めることが必要です。

引き続き、多様な福祉サービスの創生と展開に向けて、ニーズの把握と共に、周知・広報に力を入れ取り組みます。

⑤安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

「目的」

地域で支援を必要としている人からの SOS を見逃さず、必要な情報や適切な福祉サービスの利用につなげていく人と人とのネットワークづくりを支援し、きめ細やかな相談体制の構築を推進します。

施策の方向（具体的な取組）

- (1) 困ったときに気軽に相談できる仕組みづくりの推進
- (2) 成年後見制度等の権利擁護に関する制度や取組の推進
- (3) より効果的な広報・情報提供の推進
- (4) 利用者の満足度を高める取組の推進

「具体的な取組と目的達成のめやすとなる数値」

目的達成のめやすとなる数値	担当課	単位	基準値 R3(2021)	実施状況					目標値
				年度	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R7(2025)
ひきこもり市民講演会参加人数	地域福祉課	人	125	数値	108				160
				達成率	68%				
宇治市 LINE 登録者数	秘書広報課	人 (累計)	13,318	数値	16,347				30,000
				達成率	54%				
デジタルデバイス対策講座参加人数	デジタル政策課	人	-	数値	639				450
				達成率	142%				
介護サービス相談員派遣事業所数	介護保険課	事業所	30	数値	30				31
				達成率	97%				

「評価」

評価（上記数値、目標を踏まえて地域福祉課で文章作成⇒委員会で意見をいただきまとめる）

「⑤安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供」として21の取組を実施し、この中から4つの数値目標を設定しました。

「ひきこもり市民講演会参加人数」は基準値と比べて減少しています。支援を必要としている人からの SOS を見逃さず支援に繋げるため、参加人数の増加に向けて、引き続き周知・広報に力を入れる必要があります。

「宇治市 LINE 登録者数」は順調に増加しています。また、「デジタルデバイス対策講座参加人数」は初年度から多くの参加があり目標値を達成しました。市民が必要な情報を取得していただけるための環境構築を引き続き推進していきます。

「介護サービス相談員派遣事業所数」は基準値から横ばいですが、目標値をほぼ達成している状況です。

安心して利用できる相談体制の構築のため、相談体制の充実を図るとともに、相談窓口の認知度の向上や相談窓口間の連携強化に取り組むほか、引き続き各取組を着実に実施していきます。